



西黒田ふれあいだより

～一人ひとりが共に楽しく、明るく喜びを重ねるまち西黒田～

令和4年1月～12月までNHK大河ドラマ「鎌倉殿の13人」が放送されます。

西黒田は坂田金時(幼名 金太郎 955年生まれ)をシンボルに地域づくりを進めていますが、この地域には日本最初の武家政権(鎌倉幕府)から朝廷に実権を取り戻そうとして敗れ(承久3年 1221)、^{おき}隠岐(島根県)に流された後鳥羽上皇(1180年生まれ)が、2度にわたり密かに訪れられたという^{ひそ}潜幸伝説が色濃く残っています。

例えば、鳥羽上北町、鳥羽上南町という自治会名が存在していることもそうですし、名越町にある後鳥羽神社が明治13年(1880)に明治天皇の許可を得て^{かんじょう}勧請された神社であることは、^{ものがた}如実にそれを物語っています。

さて、来年度NHK大河ドラマ「鎌倉殿の13人」(三谷幸喜氏脚本)の放映が予定されています。このドラマの時代は、後鳥羽上皇の天皇在任期間(15年間)と上皇時代(23年間)にちょうど重なっています。来年は、大河ドラマを見て地域の歴史に思いを馳せる1年としてみてはいかがでしょうか?

後鳥羽上皇って何をした人?



後鳥羽上皇は、治承4年(1180)8月6日生まれで、わずか3歳で天皇に即位しています。また、後白河法皇の孫で安徳天皇の異母弟です。安徳天皇は、母が平清盛の娘(建礼門院徳子)で壇ノ浦の戦いで8歳の時、母とともに三種の神器と海に沈んだ天皇として知られています。

後鳥羽上皇は、文武にわたり多芸多才で、太刀の製作、鑑定をしたり、「新古今和歌集」を勅選により編んだことは有名で、自身18歳の時に、3歳のわが子(土御門天皇)に譲位し、41歳(1221年)まで上皇として院政

を敷きました。この間「鎌倉幕府」では3代源実朝が12歳で征夷大將軍となり、27歳で暗殺されています。実朝が殺されたことで源頼朝(初代將軍)の子供がいなくなり、2代目執権、北条義時(北条政子の弟)は後鳥羽上皇の息子を將軍にしてほしいと頼みましたが、後鳥羽上皇が応じず、これに怒った義時は京都に兵を送ります。そして、後鳥羽上皇も、朝廷の権力を取り戻すことを目的として、打倒鎌倉幕府で兵をあげました。これが承久の乱の始まりです。

後鳥羽上皇は、「朝廷の命令なら全国の武士も従って鎌倉幕府を倒すだろう」と思っていたのですが、北条政子の「故頼朝公の恩は山よりも高く、海よりも深い・・・」という有名な演説により武士(御家人)たちは一致団結し、わずか1か月で京都は幕府軍に占領され、朝廷側は負けました。

承久の乱が終わった後、首謀者の後鳥羽上皇は、^{おき}隠岐(島根県)に流され京に帰れぬまま当地で^{ほうぎょ}崩御(59歳)しました。



※院政とは・・・天皇の座を譲った人(＝上皇。出家した場合は法皇)が、天皇の補佐役という名目で政治の実権を得ること (※出典 歴史上の人物)

西暦	年号	天皇	後鳥羽上皇	政治・文化・宗教
1175	安元 元	〈高倉〉	生誕	浄土宗を唱う(法然)
1176	2			源平合戦
1177	治承 元			名超寺・布(富)施寺炎上
1178	2			
1179	3			
1180	4	〈安徳〉		
1181	養和 元	1		
1182	寿永 元	2		
1183	2	〈後鳥羽〉	3 天皇即位	
1184	元暦 元	4		
1185	文治 元	5	壇ノ浦の戦い(安徳天皇 8歳)	
1186	2	6		
1187	3	7		
1188	4	8		
1189	5	9	名超寺再建	
1190	建久 元	10		
1191	2	11		
1192	3	12	源頼朝が征夷大將軍となる(45歳)	
1193	4	13		
1194	5	14		
1195	6	15		
1196	7	16		
1197	8	17	臨濟宗を広める(栄西)	
1198	9	〈土御門〉	18 土御門天皇に譲位し院政をひく	選択本願念仏集(法然)
1199	正治 元	19	◎名超寺潜幸	頼家が2代將軍になる(18歳) 13人の合議制をしく
1200	2	20		
1201	建仁 元	21	新古今和歌集の院宣	
1202	2	22		
1203	3	23	実朝が3代將軍になる(12歳)	
1204	元久 元	24	義時が執権に就く(41歳)	
1205	2	25	新古今和歌集完成(定家ら)	
1206	建永 元	26		
1207	承元 元	27	順徳天皇即位	専修念仏禁止 法然(土佐) 親鸞(越後)配流
1208	2	28		
1209	3	29		
1210	4	〈順徳〉	30	
1211	建暦 元	31		
1212	2	32	方丈記(鴨長明) 金槐和歌集(実朝)	
1213	建保 元	33		
1214	2	34		
1215	3	35		
1216	4	36		
1217	5	37		
1218	6	38		
1219	承久 元	39	実朝殺害(27歳) 政子「尼將軍」と呼ばれる 愚管抄(慈円)	
1220	2	40	◎名超寺潜幸	
1221	3	〈仲恭〉	承久の乱 院政 隠岐島へ配流	
1222	貞応 元	〈後堀川〉	42	
1223	2	43		
1224	元仁 元	44	義時死去 教行信証(親鸞)	
1225	嘉禄 元	45	政子死去	
1226	2	46		
		59	崩御(1239年)	



今年「承久の乱」800周年!!

後鳥羽上皇潜幸伝説!!



鳥羽上の伝承

承久年間(1219~22)、後鳥羽上皇が鎌倉幕府打倒の兵を募る目的で、名越の名超寺に御巡幸になった時、当時天台宗の古刹であった常光山法徳寺(鳥羽上)に立ち寄り、国政回復を祈願せられたと伝えられる。また、現在の観音堂の地に松と杉をお手植えになり、今も土地の人が「お杉さん」と称して親しんでいます。その後も後鳥羽上皇と鳥羽上の関係は深く、上皇の画像を安置した後鳥羽院御影堂(大阪水無瀬)の堂領(御影堂の維持費をまかなうための領地)が各地に置かれ、鳥羽上もその一つとなっています。1314年、京都市の青蓮院文書には、鳥羽上庄の地名が見られ、おそらく承久年間の上皇御巡幸を機に、後鳥羽上皇の中三文字を奉戴して「安奈村」から「鳥羽上村」と称する地名に変更されたものと言われています。

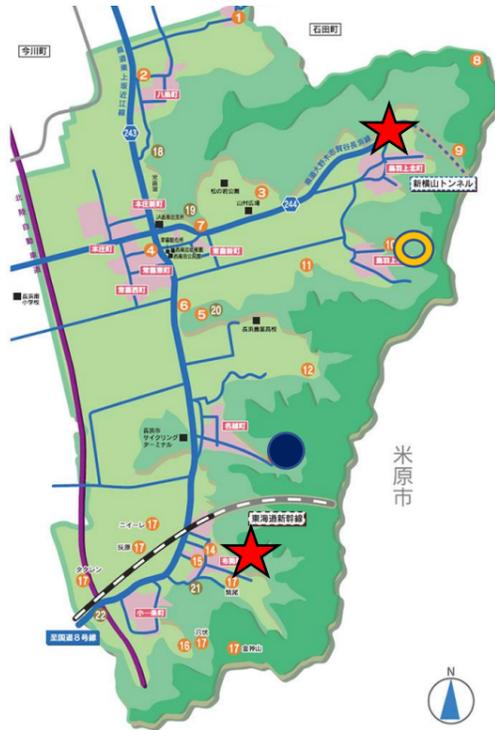
(※出典 西黒田風土記 P.18,P.19)



名超寺(名越町)



後鳥羽神社(名越町)



上皇が、訪れたとされる寺院は、★法徳寺(鳥羽上)、★富施寺(布勢)などです。



観音堂(鳥羽上南町)の観音様

○観音堂の地には、上皇がお手植えになったお杉さんが伝えられています。

●名超寺の伝承

名越町の名超寺には、後鳥羽天皇が、正治元年(1199・19歳)と承久2年(1220・40歳)の二度にわたって同寺を訪れ、近習であったこの寺の僧禅行に幕府調伏の祈禱を依頼したとの伝説があるのです。名超寺は、伊吹山寺の開祖三修沙門の高弟名超童子が創建したと伝える天台の古刹で、全盛期には七堂伽藍に四十九の坊院が立ち並んだとされています。現在は四十九院のうち平等院と観成院の両院と、円光院の跡と伝えられる地所があります。名超寺は、源平の争乱が激しかった治承4年(1180)に山本義経と平家方との戦いの兵火で一度焼かれたのですが、文治5年(1189)に再建され、この頃に延暦寺(宝幢院)の阿闍梨であった禅行が入ったといわれています。そして、後鳥羽上皇はこの禅行の導きで名超寺に立ち寄り、円光院にて鎌倉幕府の追討をはかり、その時に自身の木像を刻んで同寺に残したと伝えられています。

(※出典 長浜市史 1巻 P.502, 2巻 P.359, 7巻 P.434)

●後鳥羽神社の創設(明治13年)と書画の収集

この木像を安置して後鳥羽上皇を祀った後鳥羽殿が境内に建てられますが、鎌倉、室町、戦国乱世と時代を経て、名超寺の寺勢も次第に衰えてゆくのですが、明治11年(1878)10月、明治天皇が滋賀県を巡幸された際に、住職の名超還寂がこの後鳥羽上皇の木像を大津の行在所に運び、天皇陛下の観覧を受けました。そして宮崎清平氏等の神社建設請願が認められ、翌明治12年(1879)に後鳥羽天皇を祀る社殿建設の許可が下り、翌年10月1日に遷宮祭が執り行われて、後鳥羽神社が創建されたのです。

再建された後鳥羽神社には、明治天皇から勅額が下賜され、その後も明治維新政府の高官や著名人からの寄付や寄進が相次いで寄せられました。その背景には、幕府追討を夢見て果たせなかった後鳥羽上皇の境遇が、同じく倒幕に動いた明治政府の要人たちの心情に沿ったという事情があったのかもしれませんが。後鳥羽神社には、勝海舟や山岡鉄舟のほか、勤皇書家の日下部鳴鶴、絵師の岸竹堂の作品など250点に及び明治期の著名人の書画が伝来し、現在長浜城歴史博物館に保管されています。



宮崎清平さん

(※出典 長浜市史 7巻 P.434、市立長浜城歴史博物館「後鳥羽神社所蔵品展」解説シート他)

INFORMATION・今後の予定

のろし駅伝 参加者募集!

★鳥羽上城跡からの紅葉を楽しもう!★

日 時：11月23日(祝・火)

AM10:30 集合(雨天中止)

(のろしの点火はAM11:30)

集合場所：旧横山トンネル入口(北鳥羽上町側)

持ち物：水筒、タオル ※登山のできる服装で

その他：参加費無料 ☆事前申し込み不要



ボランティア募集!!

のろし駅伝に先駆けて、横山ハイキング道の整備を実施します。

11/13(土) 午前9時~ 旧鳥羽上トンネル口集合(雨天の場合は11月14日(日))

倒木の除去や草刈り機などで笹・下草刈りなどの作業をします。皆さんの参加をお待ちしています。

西黒田きんたろうサポート会だより

買い物ツアー開催日 11月6日(土)と11月20日(土)

あなたの町のデマンドタクシー乗り場までお迎えにまいります。

(申し込み 西黒田まちづくりセンター TEL: 62-0381)